

●学習指導プラン【小学校 第6学年 総合的な学習の時間】

学習内容	<p>「福島の世界に向かって」 原子力発電所事故後の福島の変化と現状について、今までの調べ学習やコミュニティでの学習をもとに考え、これからの福島についてそれぞれの考えを交流し合い、福島の世界について考える。</p>		
ねらい	<p>学習してきたことをもとに、福島の世界や今後について、お互いの考えを共有しながら、自分なりの未来像を描くことができる。</p>		
段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価（評価方法）</span>
問題把握	<p>1 見学学習に対するそれぞれの感じ方の違いを知る。</p>	5	<p>○コミュニティ見学の異なる感想をいくつか紹介することにより、個々の問題意識の差による考えの違いを共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;">                 福島の世界は、どのように進むべきだろう。             </div>
問題追究	<p>2 視点を絞った問題点に対するディベートで考えを出し合う。 ○放射線問題 ○エネルギー問題</p> <p>3 福島の世界の将来について考えを共有する。 ○再生可能エネルギー ○ロボット大図</p>	15	<p>○紹介した感想の中の異なる意見を取り上げることで、視点を絞り込んだ話し合いが進められるようにする。</p> <p>○学習を通して身に付けた知識をつなげて考えることを意識させることによって、断片的な未来像ではなく全体的な未来像を描けるようにする。</p>
まとめ	<p>4 話し合いで感じたことを整理する。</p>	10	<p>○本時の話し合いで出された意見を振り返り、他の意見を参考にしながら福島の世界に対する自分の考えを意識できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;">                 他の意見を参考にしながら、自分の考えを整理している。 （発言・記録）             </div>
作成推進校	福島市立岡山小学校		

## 【実践成果】

本年度の夏にオープンをした「コミュタン福島」の見学を通して、放射線に対する基礎知識や、再生可能エネルギーに対する基礎知識、そして福島への再生に向けた可能性について考え直すことができた。

見学や体験を通して得られた知識や、自分が課題と感じていた内容について新たな視点を得ることによって、放射線との付き合い方や、福島をはじめこれからの日本、ひいては世界の未来におけるエネルギーとの付き合い方について考え直すよい機会となるとともに、一人一人が自分事の問題として意識し、自分なりの考えをもつことができた。

<成果>

- 見学・体験を通して得られた知識を、結びつけて活用しながら考える姿が見られた。
- 理科と総合を横断的に扱って学びを進めることにより、教科としての理科の理解が深まるとともに、実際の社会で問題とされていることが自分たちの学習と直接つながっているという意識をもたせることができた。
- 「エネルギー問題」や「地球環境問題」を他人事としてとらえず、自分たちの日々の生活と結びついている自分事と考える態度を育てることができた。

